立北だより

尼崎市立立花北小学校　３月特集号（学校評価）
校長　武市俊彦

検索　立花北小学校　→　ホーム-ページへ

平成３０年度　努力目標

・自らの可能性を発揮し、自立する子の育成をめざす　－粘り強く　たくましく　あたたかく－
・自尊感情の育成　内面の理解に基づく心の通い合った指導　人間尊重を基盤とした仲間づくりの推進
・確かな学力の向上　　『立北スタイル』の充実とひろがり（授業改善、他教科との関連）　家庭学習の充実

1　教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む

取組とその成果

・わからない問題があっても既習事項を応用して解答することができる。
・レッツスタディの取組により学力の低い子の底上げに繋がっている。
・基礎基本が定着するような授業を心がけた。
・レッツスタディの一本化　2コースの実施〇
・基礎計算：スモールステップでの指導→自力で計算できる力（補習の効果）
・めあてと振り返り　学びの形を整えることが良かった。
・特別支援教育部会等を通して、発達特性をもつ児童への理解が進んだ。
・チームでの話合い活動を通して友だち同士のつながりが持てたり思考が深まったと考えている。
・系統立てた指導を続けているためマット運動や鉄棒に関しては子どもの力の積み重ねができていると感じる。
・授業で取り組んだことが遊びに広がっていた。外で遊ぶ児童が増えた。

課題・改善策など

・見通しをもって学習に取り組めるようにしていく。
・教材研究に時間をかけられるような工夫。
・家庭での予習・復習を大切にする。家庭との連携
・既習の内容を確かなものにしていく必要（九九が暗記できていない等）
・児童の苦手分野に対して、共通理解のもとで力を入れていく必要性。
・ほどよい量や難易度を考え、意欲のあがるような手立て
・教育的ニーズに応じた適切な指導や教育的支援の向上
（授業のユニバーサルデザイン化、発達特性に応じた指導者の対応）
・給食・食育部会をさらに機能させ、食育全体計画・食に関する指導事項を意識した食育の推進を進める。
・授業を通して担任が児童に食の大切さを考えさせる取組をすることも必要である。

2　心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

取組とその成果

・道徳の研修やローテーション授業の実施により授業力向上が見られた。
・思いやりの心をもって学校生活を送ることができる。
・特別活動実施案にキャリア教育の視点を取り入れ、めざす子ども像を明確にした。行事後の振り返る時間（作文等）を設けることができた。
・体験活動を重視し、自らの成長や収穫の喜び等を味わうことができた。
・最高学年としての意識の高まり。行事での成功体験により自尊感情が高まり豊かな心を育てていると思う。
・教師自身も子どもたちを褒める視点を多様に持つことを意識した。
・価値づけの徹底。　・良いところ見つけで自尊心を高められた。
・教育相談等を積極的に活用しながら誰もが相談しやすい環境づくりができた。解決に向け特定の教員が抱え込まず組織的に対応できた。

課題・改善策など

・普段の生活の中で、友だちに対する言葉遣いや行動など、まだまだ相手の立場にたって行動することができていない。
・瞬間の怒り、衝動性、思い通りにならない相手への接し方がまだまだ未熟で、やってしまってから反省する場面が多かった。感情をいかにコントロールし相手に伝えていくのか手立てをとり、児童の力になれるようサポートしていきたい。
・道徳の授業などを通して、普段の生活と照らし合わせて考えられるようにしていく必要がある。
・学級や学校行事において、キャリア教育の視点を意識した活動をさらに意図的・継続的に仕掛けていく必要がある。

3　家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む

取組とその成果

・ＰＴＡの企画による学年活動が実施できた。
・家庭、地域、学校が情報共有し、子どもの成長を見守ることができた。
・地域学校協働本部の協力による落語鑑賞会が実施できた。日本文化に触れるといった体験は児童にとって有意義であったと思う。
・図書ボランティアによる読み聞かせを子どもたちは楽しみにしており、集中して聞いていた。朝の時間にも読み聞かせに来てもらうことができた。
・尼崎市に住んでいる各分野に詳しい方の協力のもと、体験学習等貴重な学習ができた。

課題・改善策など

・ＰＴＡ総会への参加者が少ない。改善が必要だと思う。
・地元の方との交流が少ないように思う。連携を深めていきたい。
・学校の様子を家庭に伝え切れていないところが多いので、積極的に伝えていきたい。
・教職員の資質向上に係る研修をより充実させたい。

4　安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

取組とその成果

・避難訓練で校舎から救助袋を使っての避難ができた。非常変災時の集団下校の方法等、検討・改善することができた。下校までの時間短縮。
・実際に災害があった際（地震）に児童・教員が落ち着いて行動できたのは日頃の成果だと感じた。避難訓練でも児童が黙って素早く行動できた。
・訓練がとっさの場合にも活用できたと感じた。
・訓練してきたことが発揮できたり、臨機応変に行動できた。
・実際に起こったことをもとに指導できた。
（用水路の危険性、避難の大切さ等）
・地震を体験したことが危機管理能力の向上、危機意識の向上に繋がった。

課題・改善策など

・避難所開設のための研修の実施　・より実践的な避難訓練をしてもよいと思う。・分団をよりいかす方法の検討が必要。
・継続して安全教育・防災教育を進め、教師等が危機意識をもって授業等をすることが大切であると感じている。

教育目標

取組とその成果

・全校生が目標を理解し、学校生活を送ることができた。・高学年が模範となり子ども同士で高めていくことができる。
・分かりやすくなり、子どもが意識しやすくなったと思う。・目標が分かりやすく、児童も覚えやすかった。
・自分の良さ、相手の良さの素晴らしさを考えることができた。
・良いところを見つけてもらうことで、頑張る活力となった。
・友だちのことを学級で話合い、友だちのためにできることを考えた。
・全校生が学校目標を知っている。その目標に対してその児童なりの取組がある。

自らの可能性を発揮し、
自立する子の育成をめざす
－粘り強く　たくましく　あたたかく－

課題・改善策など

・達成できたとは言えないので機会を見つけて振り返ることが大事だと思う。
・目立たない子にまで配慮が行き届いていなかったように思う。・具体的にどんな行動をすればいいのか理解を高めていく。

研究テーマ

取組とその成果

・研究テーマ、サブテーマがより分かりやすくなり、良かった。・授業で取り組んだことが遊びに広がっていた。
・様々な場面で体育の充実がなされていた。
・全職員が一丸となってマット運動に取り組み、子どもたちが楽しんでマット運動に取り組んだ。

課題・改善策など

・技の系統性については、まだ不十分なところがある。・高学年のマット運動については、まだ検討の余地があると思う。
・陸上などの個人競技になると苦手な子が意欲的に取り組みづらく、場の工夫ができないかと思う。

学校関係者評価

・子どもたちの学習に対する意識があがっていると感じました。
・今後ますます期待したいと思います。
・レッツスタディなど学力向上に熱心に取り組んでいると思います。
・道徳教育の充実を今後も期待したいです。
・これからのグローバル化社会にむけての取り組みも望んでいます。
・保護者にむけて地域との関わりを伝えていくような広報も行ってほしい。
・学校は地域との連携に積極的に取り組んでいると思います。あとは保護者、ＰＴＡの意識向上かと思います。
・地域学校協働本部を中心に地域とのつながりをますます深めていけたらと思います。
・想定外の災害に対応し、その中で最大限努力をされていると思います。
・体育館が３階にありエレベーターが設置されていないこともあり、足の不自由な方にも避難所として使ってもらえるようになればと思います。
・１階の使用についても配慮ができればと思います。
・目標を繰り返し伝えていくこと等、自分の良いところ、相手の良いところを見つけられる子どもに育ってくれたらと思います。
・体育は、今後とも期待しています。・授業で取り組んだことが遊びに広がるのは良いことだと思います。